



新潟県

# 教育月報

3月号

第746号  
平成24年3月1日発行  
編集人、発行人  
新潟県教育委員会

### <今月号の記事>

学校における食育の充実を図るために  
地域に根ざすキャリア教育推進事業について

P 1～4  
P 5～8

## 学校における食育の充実を図るために

保健体育課

### はじめに

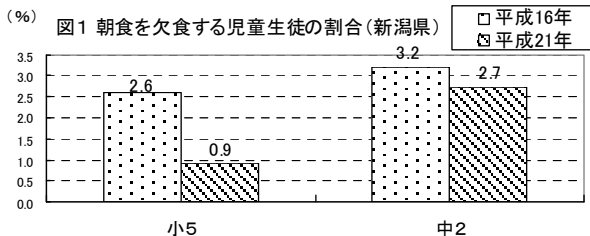
新学習指導要領に食育が位置付けられ、学校における食育推進の効果に期待が寄せられています。また、食事内容の偏りや痩身傾向の増加など、児童生徒の食に関する新たな課題も指摘されているところです。

日常の食生活の改善に確実に結び付くように、より実践的な指導を行うなど、学校における食育の更なる充実が求められています。

そこで、本号では、本県児童生徒の食に関する実態と学校の取組事例、実践的な食育指導のポイントなどについてお知らせします。

### 児童生徒の食に関する実態

[新潟県食育推進計画](#)によると、図1のとおり、朝食欠食の割合は、小学校5年生では2.6%から0.9%に大きく減少しており、中学校2年生でも減少傾向にあります。



しかし、その食事内容を見てみると、図2のとおり、主食（ごはん・パンなど）のみで済ませている児童生徒がかなりの割合で見られ、必ずしも栄養バランスのよい食事となっていない実態がうかがえます。また、図3のとおり、食事の摂取量が十分ではないと思わ

れる児童生徒も見られます。

「栄養バランスのよい朝食をしっかりととる習慣を身に付けること」が課題です。

図2 児童生徒の朝食の食事内容(新潟県)

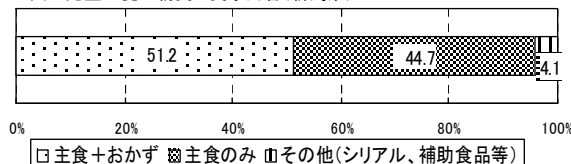
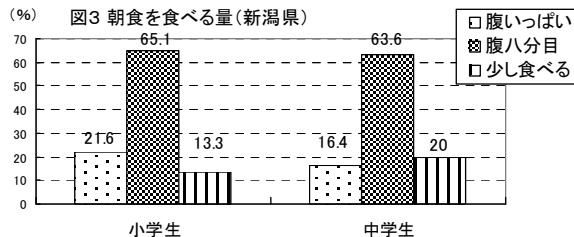


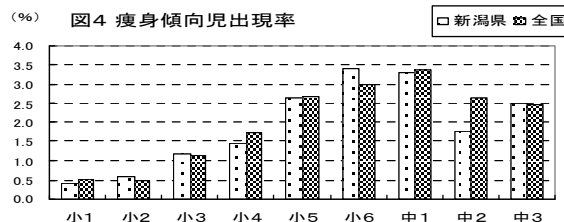
図3 朝食を食べる量(新潟県)



なお、痩身傾向の増加が全国的に問題となっていますが、図4のとおり、新潟県においても、小学校の高学年から中学生にかけて出現率が急増し、特に、女子においてその傾向が顕著です。痩身願望による不必要な食事の制限は、体調不良の原因となることがあり、また、成長期に必要な栄養摂取不足のため将来の健康に影響を及ぼすことが心配されます。

今後、痩身傾向やダイエット等に関わる指導を年間指導計画に位置付け、発達段階に応じて確実に指導する必要があります。

図4 痩身傾向児出現率



## 食に関する課題への取組事例

児童生徒の食に関する課題である「栄養バランスのよい朝食をしっかりとる習慣を身に付けること」を受けた取組事例として、平成23年度新潟県学校給食優良学校表彰受賞校の実践を紹介します。

### <小千谷市立片貝小学校>

#### 1 課題

- ・朝食を欠食する児童はほとんどいないが朝食のとり方についての関心は低い
- ・朝食の重要性についての認識と、朝食の質を高めること

#### 2 取組

##### (1) 全学級で行う「朝ごはんの指導」

栄養教諭と養護教諭が連携し、全学級で朝ごはんの重要性について指導しました。

栄養教諭は栄養バランスとその効果について、養護教諭は生活リズムと朝食の関係について指導し、それぞれの専門性を生かした指導を行い、児童の関心を高めました。



【TTによる食育指導】

##### (2) 「朝ごはんチェック」の取組

児童にとって分かりやすい評価とするため、主食40点、主菜20点、副菜15点、汁15点、果物・牛乳5点と、食事内容を点数化してチェックを行いました。児童は、「80点以上の朝ごはん」を目指して、進んで取り組みました。

また、学校保健委員会で「朝ごはんチェック」の結果を話題にすることで保護者の関心を高め、理解と協力を得ることができました。

#### 3 成果

「朝ごはんチェック」では、全校児童の平均点が80点前後という結果が続きました。児童は、「朝もしっかり野菜を食べるようにした

い」「次は自分で主食・主菜・副菜・汁がそろったごはんを作りたい」と述べ、バランスよく食べることへの関心を高めていました。

### <佐渡市立畑野小学校>

#### 1 課題

- ・朝食摂取者の増加と栄養バランスの改善
- ・家庭との連携を深め、朝食内容の確認と改善の取組を進めること


#### 2 取組

##### (1) 「学びを支える生活習慣」としての指導

食を含めた生活習慣を改善することは学習や学校生活を支える大切なものであることを、児童へ指導するとともに、家庭への啓発にも力を入れました。学年だより「食育コラム」コーナーを設けて食の重要性を継続的に訴えたり、食習慣が学習や生活に影響を与えることを食育講話で伝えたりしながら、家庭の食に対する関心を高めました。

#### 【「食育コラム」記事】

～5月の食育コラム～「めざましごはん」



朝ごはんを食べずに学校へ行って、ボーっとしてしまったことはありませんか？ これは脳のエネルギーが不足していることが原因です。脳の活動には朝ごはんが大切です。おすずめは、ゆっくりと消化・吸収され、長い時間安定してエネルギーを供給できる「ごはん食！」気持ちよく1日を始めるために、朝からしっかり「めざましごはん！」

文部科学省「できることから始めてみよう！『早寝早起き朝ごはん』より

##### (2) 「朝いきいきウィーク」の取組

起床・就寝、朝食摂取、栄養のバランスを見直す強調週間を毎月1回実施しました。

栄養のバランスでは、できるだけ多くの食材をとることを求め、「5品以上の食材をとる」を目標としました。児童にとっては、3つの食品群で考えるより分かりやすく、「今日は5品以上食べてきたよ。」という声が、朝のあいさつとともに校舎内に響きました。

### 朝いきいきウィーク

～ いい顔 早起き 朝ごはん ～

《やり方》  
「6時30分までに起きた。」「朝ごはんを食べた。(5品以上食べた。)」について、毎日記録しましょう。できた…○ できなかった…×

1. 寝目が覚めたら、おうちの又とふり返りをしましょう。あてはまる「歯の顔」に色をぬりましょう。

《食品の数え方》※ 《飲料のみを数え、調味料は数えません。》  
例 おにぎり(ごはん・コンブ、のり) 3品  
みそ汁(とうふ・わかめ、揚げ・ねぎ) 4品  
野菜いため(キャベツ・玉ねぎ・ピーマン、もやし・肉・入卵) 6品  
サラダ(レタス・トマト・キュウリ) 3品

月	日	曜日	朝ごはんについて		自分のふりかえり		おうちの人のふりかえり		先生から
			6時30分までに起きた。	5品以上食べた。	○	×	○	×	
8	月				😊😊	😊😊	😊😊		
9	月				😊😊	😊😊	😊😊		
10	月				😊😊	😊😊	😊😊		
5	月				😊😊	😊😊	😊😊		

《ふりかえり》 《感想》

【「朝ごはんチェック」シート】



### 3 成果

年度末の調査では、ほぼ5品以上の食材を食べている児童が70%を上回りました。保護者からは「嫌いなおかずを食べるようになりました。」「朝、5品以上食べるのは大変ですが、食べてくれるとうれしく思います。」といった声が聞かれ、意識の高まりが感じられました。



【友達と協力して行う給食の準備】

## 実践的な食育指導のポイント

### 1 給食の時間における指導の重要性

食に関する指導の目標は一度の実践や指導で達成されるものではなく、少しずつ時間をかけながら繰り返し指導することで理解が深まり、習慣化されるものです。そのため、毎日繰り返し行われる給食の時間における指導は、食育を行う上で極めて重要です。

給食の時間における食に関する指導は下記のとおり大きく2つに分けることができます。

給食の時間における食に関する指導	
・教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食をとおして確認させる。また、献立をとおして、食品の産地や栄養的な特徴等を学習させる。	
給食指導	
・給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、箸の使い方、食事のマナーなどを習得させる。	

#### 【給食の時間における食に関する指導の内容】

「給食の時間における食に関する指導」では、栄養教諭等と連携しながら、給食献立を通じて、実感を伴った指導を行うことができます。

特に、「給食の時間における食に関する指導」に含まれる「給食指導」は、準備、会食、片付けなどの一連の実践活動を通じて児童生徒に正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けさせることができる極めて実践的な教育活動です。また、共同作業を通じて責任感や連帯感を養うとともに、給食に携わる人々への感謝の気持ちなど豊かな心をはぐくみ、好ましい人間関係を育てることができます。

### 2 給食指導の充実を図る

給食指導の内容を「食に関する指導の手引」に記載されている内容から整理すると、次のようになります。

準備・片付けの指導	・給食当番（運搬の仕方等） ・当番以外（教室の整頓等）
衛生指導	・身支度 ・健康観察 ・手洗い ・食環境の整備
食事指導	・配膳の仕方 ・食べる姿勢 ・食べる順番 ・よく噛むこと
マナー指導	・箸の持ち方 ・食器の持ち方 ・食への感謝の仕方 (あいさつの仕方、好き嫌いせずに食べる、残さず食べる) ・立ち居振る舞いの仕方 ・会話の仕方、相応しい内容

これらの指導が、どの学級でも確実に行われるようにするために、次の2点について確認をお願いします。

#### (1) 給食指導の内容や方法について、学校内で共通理解を図ること

すべての教職員が同一歩調で指導を行うことが大切です。

佐渡市立金井小学校では、職員会議で食に関する児童の実態について話し合う機会をもち、給食指導の進め方について見直し、共通理解を図りました。その結果、給食の時間に、食べることに集中する姿や、茶碗のごはん粒をゼロにして後片付けしようとする児童の姿が多く見られるようになりました。



(2) 指導計画に基づき、意図的・計画的に指導を行うこと

年間指導計画に位置付け、重点化を図りながら指導を行うと効果的です。

弥彦村立弥彦小学校では、月ごとの生活目標とあわせて給食指導の重点を提示し、計画的に指導を行っています。ランチルームでの指導とともに、各教室での指導も行うなどして児童への定着を図っています。児童を対象に行ったアンケート調査の結果、「マナーを意識して食べている」と自己評価した児童が89%となり、児童の意識が向上している様子がうかがえました。

**新潟県食育指導実践事例集（授業編）**

学校における食育のより一層の充実を図るため、「新潟県食育指導実践事例集（授業編）」を作成しています。

平成20年度～22年度の食育研修会（新潟県教育委員会主催）を受講した栄養教諭の授業実践を整理し、保健体育課のWebサイトに掲載します。3月中には完成し、公開する予定です。

実践事例集には、学習指導案とともに、実際に授業で使用したワークシートや資料等を掲載し、各学校で食育の授業を行う際に活用できるようにします。

今回は、学級活動、体育（保健体育）、家庭（技術・家庭）など、22の実践例を掲載します。今後は、実践例を追加するとともに、授業以外の実践例も掲載し、内容の充実を図っていきます。

食育指導を行う際の参考資料として、ぜひ、御活用ください。

**インフォメーション**

●平成23年度学校給食表彰について

文部科学省では、学校給食の実施に関し、特に功績のあった学校給食関係者に対し、学校給食表彰を行っています。今年度は、次の方が表彰されました。

学校給食功労者 大矢 益子 栄養教諭  
（県立村上特別支援学校）

健康血液チェック 3年 番 氏名 \_\_\_\_\_

あなたの血液は「ドロドロ血」!? それとも「サラサラ血」!?

前時の授業で、14個のチェック項目を○×で答えてもらいました。→ ○の数は  個でした。

**結果** 塗りつぶした円の形は、将来のあなたの血管かも……!?

ドロドロ血は、血管を詰まらせやすく、「生活習慣病」の原因になりやすいです。急にドロドロ血になるわけではありません。長年の生活習慣が影響し、ドロドロ血が作られていきます。今のうちから気を付けていくことが大切です。

○の数が、 <b>4個以下</b> ＜青信号＞ しかし、○がついたら安心はできません。今のうちから予防を心がけ、サラサラ血を保ちましょう。	○の数が、 <b>5～9個</b> ＜黄信号＞ 注意!!! 気を付けましょう。これからの生活にかかっています。	○の数が、 <b>10個以上</b> ＜赤信号＞ 危険!!!!!! ドロドロ血になる可能性が高いです。気を付けましょう。
-----------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

**解説** 1～14までのチェック項目は、すべてドロドロ血の原因となる生活習慣です。

1	ラーメンの汁には塩分がたっぷり。塩分をとりすぎると、血圧が上がります。インスタント食品には塩分が多く含まれています。
2	肉は動物性食品でコレステロールが高いです。野菜には食物せんいが多く、コレステロールの吸収をおさえてくれるので、肉と一緒に野菜を食べましょう。
3	ジュースには糖分。スナック菓子には油がたっぷり。飲みすぎ・食べすぎで摂取エネルギーのとり

朝ごはん、朝からいきいき体づくり

年 名前 \_\_\_\_\_

1 朝から体をいきいきさせる朝ごはんは、どの朝ごはんだと思いますか?

A  B  C 

< > < > < >

選んだ理由を書きましょう。

2 次の朝ごはんに何を加えたら体をいきいきさせる朝ごはんになるでしょう。

たまご やき  味噌   
 朝ごはん  みそ汁  +

3 体をいきいきさせる朝ごはんを食べるために、

【新潟県食育指導実践事例集（授業編）より】

保健体育課 Webアドレス

<http://www.pref.niigata.lg.jp/hokentaiiku/index.html>

●平成23年度新潟県学校給食優良学校を表彰しました

新潟県教育委員会では、学校給食の普及充実を図るため、学校給食の実施に関し、児童生徒への食に関する指導や家庭・地域との連携など、優れた成果をあげた次の4校を表彰しました。

- 小千谷市立片貝小学校
- 佐渡市立畑野小学校
- 新潟市立大形小学校
- 新潟市立亀田小学校



# 地域に根ざすキャリア教育推進事業について

県立教育センター

## はじめに

県教育委員会では、平成23～25年度の3年に渡って、「地域に根ざすキャリア教育推進事業」を行うこととしました。これは、地域参画型のキャリア教育を全県に展開することを目的としています。

本号では、事業の概要と特色あるキャリア教育を実践している学校の取組例を紹介し、各学校でのキャリア教育推進の参考として御活用ください。

## 本事業の経緯

### 1 キャリア教育パイロット事業

県教育委員会では、平成21・22年度の2年に渡り、上越市・長岡市・柏崎市の3地域において「キャリア教育パイロット事業」を実施しました。その結果、地域参画型キャリア教育で成果をあげるためのポイントとして、次の3点が明らかになりました。

- ①小・中・高が連携した系統的なキャリア教育の推進（【小・中・高のつながり】）
- ②地域資源を生かして、郷土愛をはぐくむキャリア教育の推進（【地域資源のつながり】）
- ③夢や目標をもたせる体験型キャリア教育の推進（【夢や目標のつながり】）

この「3つのつながり」をキャリア教育に取り入れることで、社会的・職業的自立の基礎となる能力や態度を効果的に育成することができるようになりました。

### 2 モデルプログラム「新潟っ子プラン」

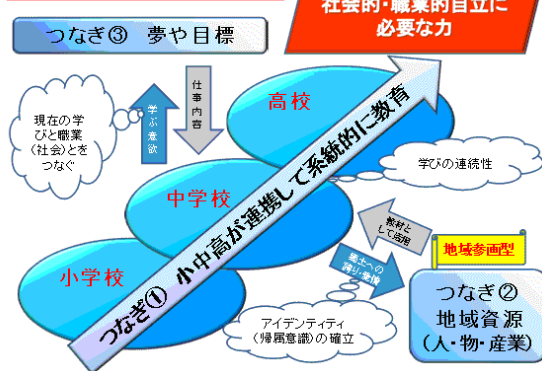
キャリア教育パイロット事業の取組から、県の「キャリア教育モデルプログラム」として「新潟っ子プラン」を作成しました。

「新潟っ子プラン」とは、中央教育審議会答申で提示された「基礎的・汎用的能力」に新潟県が重点とする「郷土愛」を加えた5つの視点からなるプログラムです。

地域に根ざすキャリア教育推進事業は、この「新潟っ子プラン」を自校化することで、各学校におけるキャリア教育を推進することを目指しています。

【モデルプログラム「新潟っ子プラン」】

### 新潟っ子をはぐくむキャリア教育



【キャリア教育の基本理念3つのつながり】

## 本事業の概要

### 1 新潟県キャリア教育推進会議

本事業の実施に当たり、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育について協議するため、学校関係者はもとより、家庭、地域、産業界で組織した新潟県キャリア教育推進会議を設置しています。会議では、推進事業の方向性、協力体制の整備等について協議しています。

## 2 キャリア教育推進ステーション

キャリア教育推進のための事務局的機能をもたせた「キャリア推進教育ステーション」を、県立教育センター内に設置しました。ここでは、市町村教育委員会及び学校のキャリア教育推進の支援や産業界等との連携を図っています。

## 3 市町村への取組支援（補助金事業）

「新潟っ子プラン」に沿った地域参画型のキャリア教育を推進する市町村に対し、補助金を交付しています。その他、キャリア教育推進ステーションの指導主事が、直接学校を訪問し、「新潟っ子プラン」を自校化する方法や手順、地域との連携方法等に関して指導・助言を行うなどキャリア教育推進に向けた市町村の取組を支援しています。

## 4 産業界との連携の推進

新潟県キャリア教育推進会議で確認した職場体験学習における協力体制を踏まえ、協力いただける産業界等関連機関の情報を整理し、県立教育センターのWebサイトから閲覧できるように整備を進めています。

## 5 にいがたキャリア教育フォーラム

県内の学校、家庭、地域、産業界が一体となって、社会全体でキャリア教育を推進していこうとする気運を高め、キャリア教育の意義を普及・啓発するために、「にいがたキャリア教育フォーラム」を昨年の12月2日に開催しました。



【にいがたキャリア教育フォーラムでの実践発表】

このフォーラムにおいて、特色あるキャリア教育に取り組んだ小・中・高等学校の児童生徒による実践発表が行われました。いずれの発表も、特色ある自校の取組を「新潟っ子プラン」の視点からとらえ直したもので、工夫を凝らした劇やプレゼンテーションからは、キャリア教育で伸びゆく子どもたちの様子をうかがうことができました。

## 6 海外先進地視察及び国内先進地視察

推進事業の効果的な実施等を図るため、先進的なキャリア教育に取り組んでいるフィンランドや広島県の教育視察を実施しました。

海外視察では、キャリア教育推進会議委員等が視察員として、フィンランドの国家教育委員会と義務教育学校(小中学校)、高等学校、大学を訪問しました。

## 7 その他の取組

キャリア教育の更なる普及を図るために、キャリア教育の広報用動画を制作しています。

また、取組による成果を測るために、効果測定用のアンケート集計プログラムの開発も行っています。「新潟っ子プラン」には、児童生徒の自己評価によるアンケートも組み込まれており、これを活用することで、身に付いた力を評価でき、指導の改善ができるようになっていきます。

## 「新潟っ子プラン」の自校化

「新潟っ子プラン」は、自校化すること自体に大きな意義があり、自校化そのものがキャリア教育推進の取組となります。

自校化を通じて、児童生徒及び地域等の実態や長所、課題を明らかにすることができます。また、これまで各学校の研修テーマ、各教科や行事等での体験活動を「新潟っ子プラン」で示された5つの視点と関連付けて位置付けることで、はぐくみたい力を明確にすることができます。





◇「新潟っ子プラン」の自校化の手順（例）（※）

- ステップ1 県立教育センター「新潟っ子プラン」をダウンロード
- ステップ2 自校のキャリア教育の計画等を基に、内容を検討し、入力して自校化原案作成
- ステップ3 職員研修等で共通理解を図り、教育課程上に位置付け、自校化プランとして実践
- ステップ4 実践の記録や評価から計画等を見直し、改善
- ステップ5 近隣の異校種と計画の情報交換

自校化に際しては、次の「3つのつなぎ」を意識することが重要です。

◇「新潟っ子プラン 3つのつなぎ」(※)

- ◇「つなぎ① 小・中・高の連携」  
連携は、自校の校種のみでなく、中学校区の学校と連携を図った学習プログラムが望ましい。
- ◇「つなぎ② 地域資源」  
「郷土愛」の視点と深く関連している。  
自校の地域資源を明確にして共通理解するとともに、キャリア教育の視点から「地域教材の見直しや開発」を進めることが望ましい。
- ◇「つなぎ③ 夢や目標」  
「キャリアプランニング能力」の視点と深く関連している。  
小学校においては職場見学、中学校においては職場体験、高等学校においてはインターンシップを行うとともに、あらゆる教育活動において、「学ぶこと」と「夢や目標」とのつながりを気付かせ、働きかけを意図的に行うことが大切である。

(※) 新潟県教育委員会 「新潟っ子をはぐくむキャリア教育のすすめ」(平成23年4月)より

「新潟っ子プラン」(モデルプログラム)は、モデルシートも含めて県立教育センターのWebサイトからダウンロードできます。

また、「新潟っ子プラン」の内容の詳細は、平成23年4月に各学校に配布された報告書とパンフレットに記載されています。



【パンフレットと報告書】

自校化のポイントは、すでに各学校で行われている特色ある教育活動をキャリア教育の視点で見つめ直し、整理し、つなぎ合わせる

ことです。それにより、自校の特色を生かしたキャリア教育を進めていくことができます。

主な取組校の実践の概要

特色あるキャリア教育を実践している小・中・高等学校の実践の概要について以下に紹介します。

1 魚沼市立須原小学校

「郷土愛」をはぐくみ、「人間関係形成・社会形成能力」を高め、「地域資源」を活用した取組

須原小学校の5年生は、学校田で米を栽培しています。地域の人から教えてもらうなど、地域との関わりが強い体験的な活動です。

また、苦勞して大切に育てた米を地域や新潟市で販売し、その収益金を社会に役立てようと話し合いを行いました。



こうした須原小学校の取組は、「郷土愛」をはぐくみ、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるキャリア教育として位置付けられます。

【学校田での田植えの様子】

2 湯沢町立湯沢中学校

「郷土愛」をはぐくみ、「人間関係形成・社会形成能力」を高め、「地域資源」を活用した取組

湯沢中学校は、観光ボランティア活動を主に越後湯沢駅を中心にして実施しています。今年度は、生徒手作りの観光マップを作成し、観光客に配布して好評を得ています。

中学生観光ガイドとして地元の魅力を自分の言葉で発信する活動をとおして、生徒たちは、地域のよさを改めて実感しています。

また、観光ガイド養成講座及びガイド活動による様々な人との関わりの中で、コミュニケーション能力をはぐくんでいます。

こうした湯沢中学校の取組は、「郷土愛」をはぐくみ、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるキャリア教育として位置付けられます。



【湯沢駅での観光ボランティアの様子】

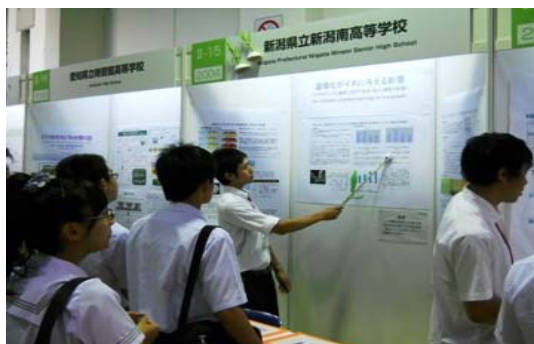
### 3 県立新潟南高等学校

「課題対応能力」をはぐくみ、「キャリアプランニング能力」を高め、「夢や目標」を意識した取組

新潟南高等学校では、スーパーサイエンスハイスクールを中核としたキャリア教育を進めています。海外研修や企業と連携協力した活動など、国際社会に目を向けた社会的・職業的自立につながる取組を実施しています。

特に、課題研究では、様々な体験を基に自らテーマの設定、計画立案、情報の選択等を行い、その研究の成果を文化祭で発表します。

こうした新潟南高等学校の取組は、「自己理解・自己管理能力」や「課題対応能力」を育成するとともに、課題研究をとおして自らの将来や生き方を見つめ、進路選択につなげていく、「キャリアプランニング能力」を高めるキャリア教育として位置付けられます。



【発表会での様子】

### 4 その他の学校や市町村の取組

紹介した実践校の市町村を含め、今年度は10の市町村教育委員会が推進事業に取り組み

始めました。いくつかを紹介します。

#### ＜学校における取組＞

◇関川村立関川小学校では、児童が村の祭りに訪れた人たちに、村の名所等について紹介するボランティアガイドとして大活躍をしました。

◇五泉市立五泉北中学校では、キャリア教育公開授業研究を行いました。また、生き方探求シンポジウムを行うなど、教育課程の中核にキャリア教育を位置付けた取組を行っています。

#### ＜市町村教育委員会における取組＞

◇佐渡市教育委員会では、佐渡の産業・文化伝統・自然についての学習を行う「佐渡学」を中心に、キャリア教育に取り組んでいます

◇田上町教育委員会では、キャリア教育をとおした「田上の12か年教育」のリーフレットを作成しました。「里山で育つ田上っ子」を目指してキャリア教育推進協議会をたちあげ、町全体でキャリア教育を推進しています。

### おわりに

「地域に根ざすキャリア教育推進事業」は、本号で紹介した以外にも県内各地で地域参画型のキャリア教育の推進を目指した取組が進められています。「夢や目標の実現のための行程を描き、取り組む子ども」を、小・中・高等学校をとおして系統的に教育し、夢や目標の実現に向けての学びや努力を学校・家庭・地域全体で支えていくキャリア教育を全県で推進していきます。

県立教育センターでは、キャリア教育推進について、直接指導主事が各学校に訪問し、関連機関や地域連携等の助言を行うなど様々な支援を行っております。お気軽に御相談ください。

新潟県キャリア教育推進ステーションWebアドレス  
<http://www.nipec.nein.ed.jp/sc/careerstation/index.html>

直接該当Webサイトへジャンプしますので御活用ください。

### 教育月報



Webでも御覧ください。バックナンバーも御覧になれます。「教育月報」で検索！

発行所 新潟県教育庁総務課  
所在地 〒950-8570  
新潟市中央区新光町4番地1  
電話 025-280-5587 F A X 025-285-3766  
E-mail [ngt500010@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt500010@pref.niigata.lg.jp)  
HP版URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/kyoikusomu/>  
\*\*本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください\*\*  
<無断転載を禁ず>